

ジャマイカ政治・経済月間情勢(10月)

要 旨

内政では、与野党が協力して国家犯罪防止に努めることを発表した。日・ジャマイカ関係では、バートレット観光大臣が訪日し、日本人観光客呼び込みを目指す旨明らかにした。

内 政

【9日】元リード教育大臣および CMU 大学長らは5,500万ジャマイカドル以上を CMU 大学から、100万ジャマイカドルを教育省から横領した容疑で検挙・告訴された。

【11日】チャック法務大臣は行政機関情報公開法に関する制度を見直すための両院特別委員会の議長を務める。

【15日】ホルネス首相とフィリップス野党党首は与野党が協力し、国家犯罪防止戦略を進めることについて議論を開始した。

【27日】ジャマイカ政府は海外のジャマイカ人コミュニティと関係促進を構築するため、グローバル・ジャマイカ・ディアスポラ委員会を設立することを決定した。

経 済

【8日】ジャマイカ政府は本年度の予算から3,800万ジャマイカドルを割り当て、Petrojam 社の特別監査を実施すると発表した。

【17日】ジャマイカ政府は自然災害発生時の財政的なリスク・ヘッジを確保する、世界銀行のグローバル・リスク・ファイナンス・ファシリティ (GRIF) から災害発生時に1,485万米ドルの融資を受ける内容の文章に合意した。

【22日】ホルネス首相とスミス外務大臣は、11月に上海で開催される第2回中国国際輸入博覧会 (CIIE2019) 出席のために訪中する。

【22～23日】国連防災機関 (UNDRR) は、地方政府コミュニティ開発省とワークショップを開催し、災害に対する強靱性を構築するための方途を議論した。

外 交

【7～9日】ホルネス首相は韓国で開催された緑の気候基金 (GCF) Private Investment for Climate (GPIC) 会議に出席し、カリブにとっての気候変動の重要性を強調し、GCF との一層の連携を図りたいと述べた。また、李首相と会談し、二国間関係につき意見交換した。

【14日】中国大使館は、西インド諸島大学 (UWI) モナ校に新設された孔子学院の引き渡し式を行った。

【16日】中国政府による33億ジャマイカドルの供与でキングストン市内に建設された外務・貿易省の新しい建物において、スミス外務大臣と Tian Qi 駐ジャマイカ中国大使は建物譲渡に関する文書を取

り交わした。

【１７日】観光省は、台風１９号による被害に対し、日本国民および日本政府へお見舞いのメッセージを発表した。

【２４日】ジャマイカとメキシコは、ラ米・カリブをカバーする社会開発政策評価に係る覚書（MOU）を交わす協議を行っている。

【２８日～１１月１日】ジャマイカ人医師３名を含む１，０００人の医療チームを乗せた米海軍病院船「Comfort」がジャマイカに帰港し、３日間無料で医療を提供する。

【２９日】チャン国家安全保障大臣は米国との間で、通信傍受に関する新たな覚書（MOU）に署名した。

日・ジャマイカ関係

【２４～２５日】バートレット観光大臣は、大阪で開催されたツーリズム EXP0 ジャパンに参加し、日本旅行業協会（JATA）との協議で日本人観光客の一層の誘致を目指したいと述べた。